

# さが県議会だより

令和3年9月定例会・10月臨時会

No.51  
2021年12月1日発行

## 9月定例会 概要 (会期 9月9日～10月1日)

9月定例会では、令和3年8月豪雨災害に迅速に対応するとともに新型コロナウイルス感染症拡大の防止と社会経済活動を両立させていくための事業費など、令和3年度一般会計予算に301億7,853万円を追加する補正予算案(追加後総額6,081億7,299万円、対前年同期比2.6%減)など、6件の補正予算案が原案のとおり可決されました。

### 【議決の状況等】

- |  |  |
|--|--|
| ○令和3年度補正予算議案【原案可決】<br>一般会計3件、特別会計3件                                | ○条例外議案【原案可決】<br>「県事業に対する市町の負担について」など6件       |
| ○令和3年度予算専決議案【承認】<br>一般会計2件   | ○人事議案【同意】<br>公安委員会委員の任命、公害審査会委員の任命           |
| ○条例・規則議案【原案可決】<br>「佐賀県議会会議規則の一部を改正する規則」<br>「佐賀県県税条例の一部を改正する条例」など3件 | ○意見書案【2件可決】<br>「有明海再生に向け和解協議関係者の努力を求める意見書」など |

## 10月臨時会 概要 (会期 10月18日)

10月臨時会では、令和3年8月豪雨災害に係る商工業者の支援、被災した農業用機械等の復旧について議論が展開され、議案の審査が行われました。

### 【議決の状況等】

- |                                     |                            |
|-------------------------------------|----------------------------|
| ○令和3年度補正予算議案【原案可決】<br>一般会計1件、特別会計1件 | ○令和3年度予算専決議案【承認】<br>一般会計1件 |
|-------------------------------------|----------------------------|

## 委員会ピックアップ —新型コロナウイルス感染症対策特別委員会を開催—

閉会中の7月15日に新型コロナウイルス感染症対策等特別委員会を開催し、国公立大学附属病院感染対策協議会会長、佐賀大学医学部副医学部長 青木洋介氏を参考人として招致し、質疑を行いました。

### 【主な質疑事項等】

- ・新型コロナウイルス感染症の法律上の現在の位置づけに対する見解
- ・デルタ株の変化に対する認識及び流行に対する備え
- ・今後の佐賀県の医療体制についての見解 など



議案に対する議員の表決態度(賛否)は、県議会ホームページで公表しています。(佐賀県議会 → 議案等の審議結果 → 議案件名一覧)

主な 内容	・9月定例会、10月臨時会の概要など	1
	・本会議質問 15人の議員が行った主な一般質問と答弁要旨	2～5
	・委員会の概要 各常任・特別委員会の主な審議事項等	6～7
	・可決された条例、意見書など	8

「インターネット議会録画」や「会議日程」、「会議録」などがご覧いただけます。

佐賀県議会 検索



### 本会議質問

主な質問は次のとおりです。

### 質問議員 ※質問順

#### 一般質問

#### 九月十五日(水)

- 石倉 秀郷 (自由民主党)
- 徳光 清孝 (県民ネットワーク)
- 木村 雄一 (公明党)
- 古川 裕紀 (自由民主党)
- 川崎 常博 (自由民主党)

#### 九月十六日(木)

- 大場 芳博 (自由民主党)
- 八谷 克幸 (自由民主党)
- 野田 勝人 (県民ネットワーク)
- 弘川 貴紀 (自由民主党)
- 井上 祐輔 (日本共産党)

#### 九月十七日(金)

- 池田 正恭 (自由民主党)
- 西久保弘克 (自由民主党)
- 宮原 真一 (自由民主党)
- 土井 敏行 (自由民主党)
- 稲富 正敏 (自民党・鄙の会)



各議員の質問一覧は  
佐賀県議会ホームページで  
ご確認ください。

### 一般質問

## 政策・総務



### 令和3年8月豪雨災害への対応



今年8月に県内を襲った豪雨は、総雨量1000ミリを超える箇所もあり、令和元年佐賀豪雨からたった2年しか経っていない状況で大規模な内水被害が発生した。今後も必ず同様の内水被害があると認識し、早急に六角川水系の抜本的な内水対策に取り組む必要がある。

まずは広域行政の観点から県が先頭に立ち、国、関係市町と一体となって協議し、スケジュール感を持って答えを出していくべきと考えるがどうか。



今回の豪雨災害を踏まえ、県も内水対策に主体的に関与するべく、副知事の下に内水対策プロジェクトチームを立ち上げ、全庁的な取組を

行うこととした。短期的な対策として、排水ポンプ車の導入に関する補正予算案を9月議会で提案したほか、長期的な対策として、河川整備による内水を受け入れる能力の強化なども検討していく。

内水対策は国、県、市町、関係者が確実に進めていくことが大事であり、県としてもリーダーシップをとって、流域全体が協力し合える体制を構築しながら、六角川水系をはじめとする内水対策にしっかりと取り組んでいきたい。

### 頻発する内水氾濫への対応



頻発する内水氾濫に対して、浸水被害を軽減するためには、クリークやため池等の本来の用途や目的にこだわることなく、農業用施設を治水対策にも積極的に活用すべきと考えるが、県はどのように取り組んでいくのか。



県では、大雨時における下流域の住宅や公共施設等の浸水被害を軽減するため、市町や土地改良区と連携協力しながら、クリークや農業用ダム、ため池などの事前放流や低水位管理を行い、空き容量を確保しておく取組を行っている。こうした中、昨年引き続き令和3年8月の豪雨でも浸水被害が発生した神埼市千代田町南部地域の浸水被害を軽減するため、神崎市、吉野ヶ里町、地元土地改良区、県の東部農林事務所、土木事務所が構成する流域治水検討会を設置し、浸水の現状把握や、クリークの流量を調節する水門の適切な操作方法などの課題を抽出して、ハード、ソフト両面から実効性のある対策を検討していくこととしている。

今後も、流域内の市町や土地改良区、国などの関係機関と連携しながら農業用施設を有効に活用した流域治水対策に取り組んでいく。

## 地域交流



### 高輪築堤の「志」継承事業



日本で初めての鉄道の遺構で  
ある「高輪築堤」は、発見が報

じられてから1年もたたない異例の速  
さで文化審議会から史跡指定の答申が  
されるなど、明治の文明開化を象徴す  
る重要な遺構である。県は、高輪築堤  
の遺構の一部を佐賀県内へ移設するよ  
う計画しているが、その意義が十分に  
伝わっていないのではないかと懸念し  
ている。高輪築堤の移設に至った経緯  
を含め、この事業にかける知事の想い  
を伺いたい。



今年は大隈侯の百回忌であり、  
その節目に合わせるように、山  
手線の真下から、そのままの姿で「高  
輪築堤」の遺構が発見されたことは、  
まさに奇跡の巡り合わせである。佐賀  
には日本の近代化に貢献したすばらし

い歴史はあるが、現存する物が少ない  
ため、この機会に何とかして本物を佐  
賀のまちに残しておきたいと考えたと  
ころである。

移設にあたっては、JＲ東日本の再  
開発事業の工期の問題もあり、限られ  
た時間の中、極めて速いスピードで国  
や関係機関との協議を重ねてきたこ  
ろである。

今後、実際に使われた石垣を使った



▲「東京八ツ山地下海岸蒸気車鉄道之図」  
佐賀城本丸歴史館蔵

部分復元に合わせ、高輪築堤をはじめ  
とした大隈侯の志、そして数々の偉業  
を、維新博のときと同様にストーリー  
仕立てで伝えていきたいと考えてい  
る。そして、県民の皆様と感動を共有  
していくことでその志を伝え、それを  
原動力として県全体を発展させていき  
たい。

### 「高輪築堤と佐賀の偉人・大隈重信 侯の関わりについて」

高輪築堤とは、明治5年(1872  
年)に、日本初の鉄道が開業した  
際、海上に線路を敷設するために  
築かれた鉄道構造物です。当時、用  
地取得に難航した高輪付近につい  
て、佐賀が輩出した偉人・大隈重  
信侯が鉄道事業の最高責任者とし  
て、約2.7Kmの区間は海上に築  
堤を建造し、その築堤の上に列車  
を走らせることを決断しました。

### コロナ禍における文化芸術振興



コロナ禍にあつて、社会経済活  
動が大きな制限を受けているの  
と同時に、文化芸術活動も中止や縮小  
を余儀なくされている。県はこれまで、  
文化芸術の担い手の支援や、県自ら文  
化芸術関係催事を行うなど、文化芸術  
の振興に努めてきたと思うが、国レベ



▶ライブハウス「LIVE」にて、  
唐津人形浄瑠璃保存会の公演を配信



ルで見れば、我が国の文化芸術政策は諸外国と比べると、質の上でも量の上でも大きな差があるように感じる。

このような現状を踏まえ、県の文化芸術振興に関わるこれまでの取組及び今後の方向性をどのように考えているのか。



文化や芸術は人々に楽しみや感動を与え、安らぎや生きる喜びをもたらし、人生を豊かにするものであり、真にゆとりや潤いを実感できる心豊かな生活や地域社会を実現していく上で必要不可欠なものであると言われている。

県では、長引くコロナ禍の中にあっても文化芸術の火を消さないという思いで、県内の文化芸術団体やアーティストなどの文化活動の担い手や、文化芸術活動の拠点となっているライブハウスやミニシアターなどが、事業を継続できるよう、リアルとオンラインが融合したLives Beyondという取組を昨年度から実施してきた。今後も感染症対策に十分に配慮しながら

から、文化芸術の観覧・鑑賞機会をなくさないよう支援を続け、街が元気になるよう、多彩な文化芸術活動にしっかりと取り組んでいきたいと考える。

### 吉野ヶ里歴史公園の利用促進及び文化財の情報発信



県では、吉野ヶ里歴史公園内にある日吉神社境内地を公有化し、新たに調査を行うと聞いている。出土品の活用を含め、今後どのような情報発信を行っていくのか。



日吉神社は、弥生時代中頃の吉野ヶ里の王墓である北墳丘墓のすぐ西隣に位置し、境内地が樹木で鬱蒼としていたこともあり、『謎のエリア』として平成元年の吉野ヶ里フィーバーの頃から注目されていた場所である。

調査を開始し、県内外に情報発信することは吉野ヶ里遺跡が再び注目を浴びることにつながると考えており、これを機に吉野ヶ里歴史公園の集客アツ

プはもとより、佐賀県の文化、観光の充実につなげていきたい。あわせて今後、膨大な量の価値ある文化財・出土品をどのように保存・活用していくのか、展示施設等の在り方も含めて検討していく。

## 健康福祉



### 医療的ケア児の支援体制の構築に向けた取組



「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が今年6月に制定、9月18日施行された。

支援法の理念にあるように、これからは医療的ケア児の日常生活・社会生活を社会全体で支えていくべきであり、ライフステージに合わせたきめ細やかな支援体制の構築が重要である。県は今後、どのように取り組んでいくのか。



医療的ケア児に対する支援は、その家族も含めて寄り添ったき

め細かなものでなければならぬと考えており、入院生活から在宅生活への移行、就園、就学など、それぞれのライフステージに応じて生じる様々な課題に対し、適切にフォローアップできる体制をしっかりと整えることが重要である。

支援法では、医療的ケア児支援センターの設置が県に求められており、各地域のコーディネーターや市町と連携しながら、一つ一つ具体的な解決を目指すしていきたい。そして、各分野の現場で活躍する支援者らと共に、家族の思いに寄り添いながら、子どもの成長を支えられるよう支援していく。

## 産業労働



### 洋上風力発電



再生可能エネルギーの中でも洋上風力発電は、欧州では既に主力電源となりつつあり、導入の動きが



世界的に急速に広がっている。  
佐賀県内では、唐津市沖が洋上風力発電に適した海域とされているが、洋上風力発電事業が実施された場合、県内への程度、経済波及効果を見込んでいのか。



唐津市沖での事業計画は、現時点では検討段階のため、発電出力35万キロワットの洋上風力発電事業が実施された場合という想定で経済波及効果の試算を行っている。試算の結果、今後20年余で風車などの建設から運営・メンテナンス、撤去までの投資が県内経済に与える波及効果は、高い場合で2、139億円程度、低い場合で340億円程度となっている。

洋上風力発電事業が実現した場合、長期間にわたり県内への経済効果が見

込まれることから、地元唐津市と一体

となつて事業の誘致に向けて取り組むとともに、経済波及効果を最大限に高められるよう、県内産業の育成にも着実に取り組んでいきたい。

## 教育



### 通学路の安全対策



通学路の安全対策については、

これまで市町教育委員会や学校、地域、保護者をはじめ、道路管理者、警察が連携して取り組んできたが、児童の交通事故を無くすためには、県がさらにリーダーシップを発揮し、取組のスピードを上げる必要があると考

える。  
県教育委員会では、今後、通学路の安全対策にどのように取り組んでいくのか。



県教育委員会では、児童生徒自身が交通事故から自分自身の命を守るための交通安全教育が大変重要と考えている。現在、全ての公立学校では学校安全計画が策定されており、地元の警察署の協力を得て、児童生徒や地域の実情に応じた交通安全教育が実施されている。県警察OBの学校安全アドバイザーから指導や助言を受けたり、警察署員による安全講話を実施するなど、子供たちが事故の危険性を実感できるような工夫を凝らした交通安全教育を実施している。

今後も、大切な子供たちの命を守る



▲歩行指導(横断歩道の渡り方)の様子(佐賀市)

ため、市町教育委員会や道路管理者、警察をはじめ、関係団体、地域の方々

と力を合わせて、関係者が一体となり通学路の安全対策に取り組んでいく。  
この他、県政全般について幅広い議論が行われました。

### 【主な質問項目】

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策
  - ・ 産業技術学院
  - ・ 玄海原発
  - ・ 森林の保全・整備
  - ・ 高等学校における消費者教育の充実
  - ・ 地球温暖化対策の取組
  - ・ 長崎本線の上下分離後の利便性確保
  - ・ オスプレイ等の佐賀空港配置計画
- など



各議員の質問一覧は  
佐賀県議会ホームページで  
ご確認ください。





委員会

常任委員会及び特別委員会の審議は次のとおりです。



各議員の質問一覧は  
佐賀県議会ホームページで  
ご確認ください。

総務常任委員会

委員会審議

県内視察を含め審議が行われ、付託議案の5件が原案可決、2件が承認、2件が同意、1件が不採択となりました。

【主な付託議案】

- ・一般会計（補正）予算関係分
- ・公安委員会委員の任命について
- ・佐賀県警鳥栖警察署対応についての調査委員会（第三者委員会）設置、佐賀県公安委員会の是正に関する請願

【主な質疑事項等】

- ・新型コロナウイルス感染症に関する情報発信の工夫や、SNSの活用状況、若者への情報発信の取組及び外国人や障害者など多様化する受け手のニーズに応じた県政情報の発信の取組
- ・民間企業等への県庁職員の派遣研修の状況と効果及び今後の派遣研修に

対する考え方

・鳥栖市における殺人事件の県警察の対応状況及び今後の県警察の取組



▲防災航空センター、佐賀広域消防局（佐賀市）の視察



文教厚生常任委員会

委員会審議

県内視察を含め審議が行われ、付託議案4件が原案可決されました。

【主な付託議案】

- ・一般会計（補正）予算関係分
- ・佐賀県医療センター好生館第4期中期目標の制定について

【主な質疑事項等】

- ・全国と県内の自殺者数の動向と、国や県、学校での自殺予防の取組み、今後の自殺対策と残された家族への精神的支援に対する県の考え方
- ・ヘルプマーク・ヘルプカードを導入したきっかけと県内の交付状況、市町や障害者団体との連携や、更なる

普及啓発に向けた今後の取組  
・県立高校での主権者教育の取組みと生徒の受け止め及びこれまでの課題を踏まえた主権者教育の今後の在り方



▲佐賀県立佐賀北高等学校（通信制新校舎の概要・佐賀市）の視察

農林水産商工常任委員会

委員会審議

県内視察を含め審議が行われ、付託議案の5件が原案可決、2件が承認されました。

【主な付託議案】

- ・一般会計（補正）予算関係分

【主な質疑事項等】

- ・時短要請協力金等の申請時の負担軽減及び持続化給付金等の再度の支給に向けた国への働きかけ





▲被災箇所の復旧状況(伊万里市鍋倉地区)の視察



▲8月豪雨の被災状況(神崎市志波屋地区)の視察

- ・農地・農業用施設の被害状況や復旧に向けた県の支援及び中山間地域等の農地保全への取組
- ・県産木材価格の上昇や小規模な森林所有者も含めた林業再生への取組



▲8月豪雨の被災状況(嬉野市大舟地区)の視察

- ・令和3年8月豪雨による内水氾濫対策としての排水ポンプ車の導入や排水ポンプの能力アップ及び今後の対応

**【主な質疑事項等】**

- ・建物として価値がある市村記念体育館の活用及び国の有形文化財等の登録
- ・一般会計(補正)予算関係分
- ・請負契約について

**【付託議案】**

県内視察を含め審議が行われ、付託議案2件が原案可決されました。

**委員会審議**

**地域交流・卓土整備常任委員会**



▲8月豪雨の被災状況(嬉野市大舟地区)の視察

**佐賀空港・有明海問題対策等特別委員会**

**委員会審議**

9月29日に委員会を開催し、佐賀大学農学部から川村嘉広氏及び藤井直紀氏を参考人として招致し、質疑を行いました。

**【主な質疑事項等】**

- ・海面漁業におけるクラゲ等の資源管理に対する知見
- ・二枚貝の種苗開発技術や色落ちしにくいノリ品種の開発状況
- ・有明海が抱える問題に対する諫早湾干拓事業による堤防閉め切りの影響
- ・有明海の東部と西南部における栄養塩の濃度の違いや色落ち対策、生産施設の有効利用への知見
- ・佐賀空港へのオスプレイ配備計画に

よるノリ養殖への影響  
・有明海特措法に基づく有明海再生事業の効果



▲質疑の様子



各議員の質問一覧は、佐賀県議会ホームページでご確認ください。

## 9月定例会で条例などが次のとおり可決されました。

### 《条例（3件可決）》

#### ○佐賀県税条例の一部を改正する条例

内容：法人県民税の法人税割の税率の特例を5年間延長する。

- ・適用期限（現行）R4.3.31→R9.3.31
- ・税率 標準税率1.0%に0.8%上乘せ
- ・対象法人（1）資本金・出資金の額が1億円超の法人  
（2）法人税額が年1千万円超の法人  
（3）保険業法に規定する相互会社

#### ○佐賀県個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例及び佐賀県個人情報保護条例の一部を改正する条例

内容：「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（マイナンバー法）」の改正に伴い、条例中の引用条項等を改める。

#### ○佐賀県安心こども基金条例の一部を改正する条例

内容：基金で実施している事業の実施期限の延長に伴い、基金の存続期限を延長する。

存続期限：（現行）R6.6.30→R7.6.30（1年延長）など

### 《意見書（2件可決）》

#### ○有明海再生に向け和解協議関係者の努力を求める意見書

#### ○私学助成の充実強化等に関する意見書

#### 議案採決結果一覧表（PDF）



令和3年9月定例会



令和3年10月臨時会

## 議場を見学しませんか

本会議等の行事がない日は、本会議場の見学ができます。職員が本会議場や傍聴席等をご案内し、議会の仕組みや施設の概要を説明しますので、社会見学や地域での勉強会等にご利用ください。

所要時間：約30分

見学時間：月曜日から金曜日までの午前9時から午後5時まで（土、日、祝日、年末年始を除く）

見学のご相談やご連絡は、議会棟1階受付又は総務課（TEL 0952-25-7215）までお問い合わせください。



▲小学生による社会見学の様子

県議会議員 いのうえ つねのり 井上 常憲様（69歳）は、令和3年9月28日にご逝去されました。ここに謹んでお知らせいたします。

県議会ホームページより、会議録・インターネット中継・録画放送などがご覧いただけます

佐賀県議会

検索

### 佐賀県議会会議録

平成11年以降の会議録を検索できます。

<http://www.db-search.com/saga/index.php/>



### インターネット中継

本会議（委員会）の様子をリアルタイムで視聴できます。（開会中のみ）

<https://www.pref.saga.lg.jp/gikai/kiji0034826/index.html>



### 録画放送

インターネット中継の日から3営業日後（土日祝除く）を目途に公開しています。平成30年4月以降の映像を公開しています。

<http://sy.pref.saga.lg.jp/gikai/stream/usr/>



お読みになった  
ご感想やご意見を  
お寄せください

## 佐賀県議会事務局政務調査課

「さが県議会だより」の次号は、3月1日発行です。

〒840-8570 佐賀市城内一丁目1番45号  
TEL 0952-25-7306 FAX 0952-25-7279  
E-mail [gikai@pref.saga.lg.jp](mailto:gikai@pref.saga.lg.jp)  
ホームページ <https://www.pref.saga.lg.jp/gikai/>